

『安全確保に向け、揖斐川の治水事業急げ！』 地元期成同盟会が国に要望書

木曾川上流河川事務所・大澤事務所長（右）に要望書を手渡す大石和合連合自治会長（左）

おおいし としゆき

・ 揖斐川沿川の大垣市内19自治会で組織する揖斐川右岸堤護岸整備促進期成同盟会（会長：大石敏之・和合連合自治会長）は8月7日（木）、国土交通省木曾川上流河川事務所を訪れ、揖斐川の河川改修について要望活動を行いました。大垣市議会の高橋滋議長、山口和昭議員らが立ち会う中、大石会長から、大澤健治木曾川上流河川事務所長へ要望書を手渡しました。

たかはし しげる

やまぐち かずあき

おおさわ けんじ

・ 挨拶に立った大石会長は、「ここ過去2年間、多くの予算を投じて大々的に揖斐川堤防の改修工事を進めていただき感謝。地域住民が一日も早く、安全で安心した暮らしが出来ますよう、整備が遅れている揖斐川右岸の上流区間（大垣市域）についても、引き続き、護岸整備の促進を願い完成を！」と訴えました。合わせて、流水の阻害となっている河川内に生い茂る樹木の伐採や、流下断面を拡大させる河道掘削も早期に必要！と要望事項の実現に特段の配慮を求めました。これらの要望に対し、大澤事務所長は、「御要望をいただいた事項については、今年度も継続的に進めることを予定している。地域の皆さんと、緊密な協力関係の下で鋭意進めていきたい」とコメントしました。

・ この後、一行は国土交通省中部地方整備局（名古屋市中区三の丸）を訪れ、五十嵐宗博河川部長へ同様に要望書を手渡しました。



災害時に災害対策本部となる流水管理センターを視察する一行